

2022年4月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 4月えんだより

年主題 「つながって」～今、わたしを生きる～

年主題聖句 「主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り

あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出でたつのも  
帰るのも主が見守ってくださるように。今も、とこしえに。」

(詩編 121 篇 7～8 節)

春の風や日差しを感じるようになりました。新入園の皆さん、ご入園おめでとうございます。そして、一つ大きくなった在園児の皆さん、ご進級おめでとうございます。新たに始まる園での生活やクラスの保育が、神様の導きの中で守られて、一日一日が満たされる日々になりますように祈ります。新しい環境で過ごすことに不安がある方もいることと思います。特に二年にわたる目に見えない感染症により、ご家庭でも十分に対応されてきた中で、手と目を離すことがご心配なこともあることでしょう。子ども達は、交わりの中で、人格と人格を交換し合いながら学び、育っていきます。子ども達との対話の中で、保育者との対話のなかで、保護者の皆さんとの対話の中で子ども達の育ちを共に守っていきましょう。

さて、手を離すことは大袈裟ですが、「旅に出る、旅に出す」ようにも感じます。“トラベル”の語源には、骨を折るとか苦勞するという意味があったそうです。現代のように交通手段がない中では、旅に出ることは、まさにそうであったことと思います。そうした中で、山々を見つめながら、先に起こることの無事を祈る箇所が記されています。そして、何度も「見守る」ことを約束しています。「見守る」の言語は“シャーマル”といい、目を注ぐや愛するという意味があるそうです。私たちは、先を見つめながら生きていくのですが、時代と共に、先の予測がつかない今を生きるとも言えます。特に現在は、今まで遭遇したことの無い、災禍や戦争などを目にしますと、気が滅入るだけでなく、不安をかきたてられ、まさに平和を祈る毎日です。

与えられた生命は、神様によってこの世に必要なとされて生まれてきた命ばかりであり、奇跡の賜物であります。そうした一人一人の生命が日々守られて、神様に愛されて育まれていくことができるように、日々祈りと共に、一人ではなくつながりあって、共に育んでいきたいと願っています。不確実な時代ともいわれますが、先を見つめて「今」を大切に保育園での日々を送っていきたく願います。皆様のご協力とご支援を宜しくお願いいたします。

4月聖句：「わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから」

<詩編 121 篇 1～2 節>

4月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おはよう	であう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自分が受け入れられていると感じ、安心する。</li> <li>*新しく出会った人やモノに親しみを感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*保育者の姿や祈りを通して神様と出会う</li> <li>*友だちや保育者に親しみをもつ</li> <li>*好きなあそびを見つけ安心して過ごす</li> </ul>
讃美歌	ことりたちは	ことりたちは こども改 18